

# 日本鑄造工学会東海支部若手鑄造エンジニア懇話会

## 第9回 YFE 技術講習会 終了報告

平成30年2月16日(金)13:30~17:00、名古屋駅前イノベーションハブ会議室にて第9回 YFE 技術講習会を開催した。当日の参加者は講師含め23名であった。

はじめに、東海支部若手鑄造エンジニア (YFE) 懇話会 山田実 懇話会長より開催の挨拶を行い、その後以下3件の講習を実施した。

### 講習内容

1. 「AI/IoT を活用したインテリジェント ファクトリー最前線」  
富士通株式会社 及川 洋光 様
2. 「鑄造装置での簡易 IoT 事例とロボット化における安全対策事例」  
株式会社キーエンス 福岡 史郎 様、木本 吉則 様
3. 「良い砂づくりのためのコントロール技術」  
新東工業株式会社 小倉 裕一 様

講習1では、IoT活用による工場全体の見える化事例として、グローバルで各工場の稼働状況や生産性、ライン不具合等の情報をリアルタイムで見られる仕組みの紹介から、Amazon Go等に活用されている画像認識技術、Google Home等に活用されている音声認識技術と、それらに組み込まれたAI技術の紹介、Microsoft HoloLensの実機デモによるAR事例紹介、といった最新技術紹介まで多岐に渡り、非常に夢のあるワクワクするような話で、参加者一同、感嘆しきりであった。

講習2では、PLCを核とした大容量データの蓄積によるビッグデータ解析やエッジコンピューティングによるリアルタイムでの見える化、予防保全システムの紹介が行われた。また、昨今課題となっている産業用ロボットを使う場合の安全対策として、レーザースキャナを活用した事例紹介があり、直接、あるいは間接的に、参加者の課題解決の参考になったと思われる。

講習3では、砂処理設備における砂特性値の安定化のため、インライン生砂特性自動計測装置、および監視システムの紹介が行われた。また、成型機やその他設備での見える化事例も紹介され、鑄造設備でのIoT化の進展状況を参加者が知る事が出来た。

技術講習会終了後の情報交換会には14名参加頂き、参加者同士や講師陣も含め、今後の活動に繋がる非常に有意義な交流を深める場となった。

最後に、技術講習会開催にあたり多くの方々にご支援、ご協力頂きました事を、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

(アイシン高丘株式会社 青山 佳照)



図1 講習風景(1)



図2 講習風景(2)

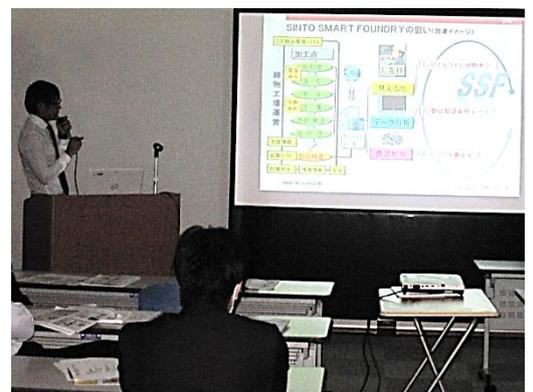


図3 講習風景(3)